

『3.11 帰宅状況調査』へのご協力をお願い

「横浜の公共交通活性化をめざす会」とNPO法人「横浜にLRTを走らせる会」では、来年1月に『震災と交通』をテーマとした「公共交通フォーラム」を横浜にて計画しております。これに関連し、本日は「持続可能な地域交通を考える会(SLTC)」のご協力も得て、『3月11日の帰宅状況調査』を行っております。

これは、今回の震災で顕在化した「帰宅困難者」の状況について調査することにより、今後起こり得る同様なケースへの対応に役立てることを目的としています。

震災当日(3月11日)、地震発生直後から首都圏の鉄道は全面的に不通となり、また道路も大渋滞となり帰宅の足は終日大混乱しました。そこで当日の皆さんの帰宅の状況、移動経路等の実態を把握し、今後に備えた検証のための基礎データといたします。

なお、集まりましたデータの概要は、「公共交通フォーラム」(平成24年1月29日に横浜市内で開催予定)にて報告する予定です。

趣旨ご理解のうえご協力をいただきますようお願い申し上げます。

横浜の公共交通活性化をめざす会 代表 清水康二
横浜にLRTを走らせる会 理事長 大内えりか

以上

- 1 ご協力いただける場合は、別紙「調査票」の設問に従い回答願います。
- 2 集められたデータはすべて統計資料として集計し、他の目的に使用することはありません。また個人を特定できるような形での公表は一切行いません。

事務局：横浜の公共交通活性化をめざす会事務局長
横浜にLRTを走らせる会理事 小田部明人

(E-mail: yokohama-lrt@nifty.com 携帯電話:090-6544-1422)

整理番号

「3月11日の帰宅状況(移動経路)調査」

「東日本大震災」発生当日のあなたの行動についてお尋ねします、判る範囲内でご記入願います。

調査目的:震災発生直後から、首都圏の交通機関は不通となり、また道路も大渋滞し帰宅の足の確保が困難な状態となりました。そこで皆さんの地震発生後の移動状況、帰宅経路の実態を把握し、今後の同様な事態発生に備えた検証のための基礎データといたく、ご協力をお願いします。

1. 属性 (該当する部分を で囲んで下さい)

- ・性別 男性 女性
- ・年齢 10代以下 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上
- ・職業等 学生 有職者(会社員・公務員等) 有職者(自営業、自由業)
主婦(夫) その他

2. 震災当日は帰宅が困難な状況となりましたか？(該当項目を で囲んで下さい)

- ・ 自宅にいたので帰宅困難な状況にはならなかった 質問8にお進みください
- ・ 自宅以外にいたが帰宅困難な状況にはならなかった 質問3以降にお進み下さい
- ・ 自宅以外にいたため帰宅困難な状況となった 質問3以降にお進みください

3. ご自宅所在地 (例: ~ 市(~ 区) ~ 町)

4. 発生時(3月11日14時46分)のあなたの所在場所 (例: ~ 市(~ 区) ~ 町 建物名等)

5. 当日の予定帰宅経路 (利用交通機関(徒歩、自転車を含む) / 乗換駅等を記して下さい)

6. 実際の帰宅方法・経路 (利用交通機関(徒歩、自転車を含む) / 乗換駅等を記入してください 当日自宅以外に宿泊された場合や一時避難所等で過ごされた方はその旨を記して下さい)

7. 当日の帰宅開始および到着時刻(当日移動を見合わせた場合等はその旨を記して下さい)

通常時の所要時間	約	時間	分	
出発時刻		時	分	ごろ
帰宅時刻		時	分	ごろ

(裏面参照願います)

